

2010 eastlib 研修分科会

私立大学図書館協会 東地区研究部 研修分科会 第2期 2010年度

第1回 2010. 6. 4.

日時
2010年6月4日（金）
13:00-17:00

会場
明治大学中央図書館
B2グループ閲覧室

テーマ
オンラインレファレンスは可能か

講演
中林雅士氏（明治大学図書館）

Access Map



会場へは開始の**定刻前**にお越しください。
また、急に来られなくなった場合や遅刻する場合は、**必ず連絡**をお願いします。
大学図書館支援機構事務局 携帯番号：090-9100-0387

研修分科会について オンライン・レファレンスは可能か

現在大学図書館では、アウトソーシングが進み、専任職員には個々の業務を理解するだけでなく、マネジメント能力が求められています。マネジメントとは、大学図書館を俯瞰し、広い視野で方向性を見極めることではないでしょうか。この研修分科会では毎回テーマを決めて材料を提供しますので、参加者各自が自分の図書館を見つめ直し、大学図書館の役割を考える場にしたいと思っています。

また、年6回を通して、大学の枠を越えた仲間作りの場にしていきたいと思います。相談できる仲間が他の大学図書館にできれば、きっと困った時に助け合えると思います。

Time Table

時間	内容
13:00-13:10	オリエンテーション
13:10-14:00	自己紹介/宿題発表
14:00-14:30	図書館見学
14:30-15:30	中林氏講演
15:30-16:30	グループ討議
16:30-16:50	発表
16:50-17:00	連絡事項

第1回は、箱ものの「図書館」ではなく、どこからでも受けられるオンラインサービスの可能性を考えることにしましょう。大学図書館の学習支援、情報提供機能の面から図書館サービスを捉え、オンラインレファレンスの実例、システム紹介を交えて、明治大学図書館中林氏に講演していただきます。

オンラインレファレンスはアメリカの大学図書館では、もはや当たり前前のサービスになっています。また、Library of CongressのAsk a librarian, Ask a librarian(UK)の事例をみるのも面白いので、是非事前に各自で見てください。

確かに利用者にとって便利なサービスですが、提供するには回答するレファレンスライブラリアンの存在が必要です。インターネットで何でも調べられるという風潮に、学術的な根拠を示す教育的役割は大学図書館の存在意義でもあります。では、どうしたら高度な回答ができるようになるのでしょうか。システムの裏で、私たちがどのようにスキルアップしていくかも重要な課題です。

ひとつの図書館で難しければ、目録のように大学の枠を越えた共同レファレンスを実現していくことは可能でしょうか。

グループ討議ではそれらの課題を話し合ってもらいます。

宿題

皆さんの図書館ではどのようなサービスをオンラインで提供していますか？レファレンス、ILLや、購入希望などの内、非来館型サービスを、表に書き込んで下さい。初回なので、個人のプロフィールと合わせて、所属図書館の紹介をしてもらいます。

締切：5月21日（金）

提出先：el-ken-b-ml@jaspul.org



はじめまして、大学図書館支援機構の高野です。今年度も研修分科会企画・運営を担当させていただきます。毎回刺激的で、日常から一歩踏み出した内容にしたいと思っています。皆さま、よろしくお祈りします。